

コロナのために治療を自粛している方々へ

よく不要不急という言葉がありますけれど、私、歯科治療に不要な治療は一つもないと断言できると思うんです。先日も日本歯科医師会の会長がテレビで仰っていましたが、私は患者さん自らその歯の治療を不要だと判断されることは非常に危険な事だと思うんです。例えば、歯の治療で代表的なものとして、歯の神経の治療ってありますよね。その治療だって途中になって後回しになれば、骨に膿が溜まってしまいます。結果、面倒な大きな問題になってしまうことだってあります。あと、誤嚥性肺炎ってご存じでしょうか？それは簡単に言うと食べ物を飲み込む時に誤って食道ではなく気管に入れてしまうことなんです。その時、口の中の細菌が大いに関係するんです。因みに2030年誤嚥性肺炎で亡くなる日本人は年間男性で77,000人女性で52,000人、合わせれば年間13万人弱の方が亡くなると予想されているんです。近年、日本人の死因の第3位なんです。コロナの比じゃないんです。これも定期的に歯石を取ったり、歯周病の治療をすることで予防できるんです。しかも、歯石を定期的にとったり歯周病の予防をしてらっしゃる方って風邪やインフルエンザになりにくいんですね。口の中を不衛生にしている人はコロナになったとすれば重症化しやすい人ですね。ですから、きぬた歯科にはむしろデンタルI Qが高い方が現在多く来院してくれています。

それと、人間の免疫って人のどこで作られるかというと腸が70%の役割になっていると言われてるんです。当然よく噛める事がコロナに対してだけではなく、あらゆるウィルスや菌に対しての免疫を作ることになる訳です。それが分かっている方、いらっしゃる多くの方が、現在当院にはインプラントの相談にいらっしゃっています。

確かに患者さんの数をセーブしている歯科医院もあるかもしれませんが、きぬた歯科は決して逃げません。より完璧な滅菌体制をすごいお金を掛けて、かかってこいよという姿勢で頑張っています。

安心してご来院いただければと思います。

きぬた歯科 院長きぬた久和